

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回
覧

--	--	--	--	--

大学評価・情報シリーズ 29 (通算 497 回)

2011 年 6 月 22 日 (水)

P D C A サイクルの実質化——

I R 機能の強化策—インフラと組織体制の実際

大学評価・情報シリーズ 30 (通算 501 回)

2011 年 7 月 16 日 (土)

大学・法人情報の共有とデータ・リテラシー——

I R 機能の実効化～トップと担当部門の対話力

P D C A サイクルの実質化——

I R 機能の強化策—インフラと組織体制の実際

～教学・経営の意思決定支援／データベースの整備・活用の実際～

- ※ 全体像とあるべき姿／仕事の実際／求められる人材とスキル／インフラと組織／いかに導入
- ※ [芝浦工業大] プログラムの見える化と体系化／P D C A 化の手順／教育目標データベース
- ※ [岡山大] 情報統括による戦略支援／データベースの実際／情報の鮮度／情報活用の実際

● 講師陣 ●

船守 美穂 氏 / (国) 東京大学 評価企画室／教育企画室
インスティテューショナル・リサーチ担当 特任准教授
工藤 一彦 氏 / 芝浦工業大学 学長室 シニア教授
稗田 隆 氏 / (国) 岡山大学 情報統括センター長・教授

2011 年 6 月 22 日 (水) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

大学・法人情報の共有とデータ・リテラシー——

I R 機能の実効化～トップと担当部門の対話力

～トップの使いこなす力・決断力／担当スタッフの分析・提言力～

- ※ [法政大] 学校法人の内部質保証と評価室の活動／法人・学部・大学院の質保証・向上への支援／提言力
- ※ [愛媛大] 《特別企画》学長と担当スタッフによる〈報告〉と〈対論〉と〈ディスカッション〉
大学運営の特徴と強み／全学的に一体感ある教育改革の歩み／教員の評価と能力開発支援
教育改善と教育 I R の役割／教育 I R のアセスメント／トップと教育企画室との対話と共働

● 講師陣 ●

公文 溥 氏 / 法政大学 大学評価委員会 委員長、総長室付大学評価室長、教授
柳澤 康信 氏 / (国) 愛媛大学 学長
秦 敬治 氏 / (国) 愛媛大学准教授 教育企画室副室長 経営情報分析室員

2011 年 7 月 16 日 (土) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会 高等教育情報センター

[参加要領]

日時 : 大学評価・情報シリーズ 29 I R機能の強化策—インフラと組織体制の実際
 2011年6月22日(水) 10:00~16:40
 大学評価・情報シリーズ 30 I R機能の実効化~トップと担当部門の対話力
 2011年7月16日(土) 12:30~16:40
 会場 : 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です
 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
大学評価・情報シリーズ 29 I R機能の強化策—インフラと組織体制の実際	41,000円 (消費税込)	42,000円(送料、消費税込)
大学評価・情報シリーズ 30 I R機能の実効化~トップと担当部門の対話力	38,000円 (消費税込)	39,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。

受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106

TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

..... キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2011年 月 日

- 大学評価・情報シリーズ 29 I R機能の強化策—インフラと組織体制の実際
 当日参加 メディア参加
- 大学評価・情報シリーズ 30 I R機能の実効化~トップと担当部門の対話力
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

TEL _____

FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 12:00	<p>□ 日本型IR機能の課題と進化策 ～意思決定に役立つIRを考える～ 東京大学 船守 美穂</p> <ol style="list-style-type: none"> IRの全体像(おさらい) <ol style="list-style-type: none"> IRの種類(Volkweinなど) 日本で見られるIR IRで一般的に指摘される課題 日本におけるIRの現状と問題点 IRのあるべき姿 <ol style="list-style-type: none"> IRとは(定義) 日本の大学で意思決定はどこで行われるか 誰がIRするのが最もよいか IRの機能配置(提案) [コラム] 日本の大学と米国大学の意思決定の違い IRの仕事の実際 <ol style="list-style-type: none"> IRは暗中模索の泥沼作業 IRで扱うデータ IRの多様な方法 IRで大事なものは意思決定に役立つ情報を出すこと 良いIRのアウトプットとは IRを組織のなかにどのように導入するか <ol style="list-style-type: none"> 教育改善のためのIR 業務改善のためのIR 大学経営のためのIR IRのためのインフラと組織体制 IRに求められる人材とスキル <ol style="list-style-type: none"> 大学運営に関する高い問題意識と正義感(最重要) IRにあると良い知識・スキル IR人材をどのように確保するか IRを学内にどのように浸透させるか さいごに: IRを組織的に導入する際の留意点 <ol style="list-style-type: none"> 形から入るのではなく、意思決定に必要なのは何なのかまず考えよう! IRにデータリテラシーはどの程度必要か? IRとデータ整備・大学評価・PDCA 客観的事実に基づく合理的判断に向けて (質疑応答)
13:00 14:50	<p>□ [芝浦工業大学] 体系的教育プログラムの構築—PDCA化と全学教学IR体制 ～PDCA化の手順と教育目標データベースによる改革支援～ 芝浦工業大学 工藤 一彦</p> <ol style="list-style-type: none"> 教育の質保証にかかわる大学の経営・教学機能 <ol style="list-style-type: none"> 大学に必要な経営機能 大学に必要な教学機能 教育の質保証に必要な体制 経営の健全性確保と教育の質保証のための体制の全体像 教育プログラムの見える化と体系化 <ol style="list-style-type: none"> 科目の機能分類(工学基礎、専門、工学リベラルアーツ) ジェネリックスキル育成科目としての工学リベラルアーツ科目とは 効率的・体系的カリキュラム構築法 プログラムのPDCA化の手順 <ol style="list-style-type: none"> 学部・学科の学習・教育目標の設定法 学科の学習・教育目標と各科目との対応付け 各科目の学習成果(アウトカムズ)の設定法 学習・教育目標の定量的評価法(ループリック)の設定法 教学IR体制によるPDCA化プログラムの支援 <ol style="list-style-type: none"> インフラとしてのアウトカムズ収集・集計用電子ポートフォリオシステム 教学IRの体制とその運用 収集・集計データの学生とプログラム改善へのフィードバック (質疑応答)
15:00 16:40	<p>□ [岡山大学] 情報統括による大学戦略支援 ～学長戦略室と統括センターの連携体制の実際～ 岡山大学 稗田 隆</p> <ol style="list-style-type: none"> IR機能強化に向けた取組 <ol style="list-style-type: none"> 何故、大学経営に向けた情報戦略を行うのか 情報資源の活用に向けた取り組みの経緯 IRに向けた学内の体制 情報統括に向けた大学情報データベースの実際 <ol style="list-style-type: none"> 情報を集める、基盤を構築する 情報を利用する、情報を提供する 情報の鮮度を保つ、情報を見直す システムで集められない情報を集める IR機能としての情報活用の実際 <ol style="list-style-type: none"> 教員評価、教員情報データベース、Read連携等の活用 統合認証基盤システムの活用 学士力向上、入試情報の分析システム等の活用 本当の大学経営支援へ向けた今後の取り組み (質疑応答)

